

人権擁護委員に狩野さん



人権擁護委員
狩野眞理子さん

境田町の狩野眞理子さん(61)が人権擁護委員に委嘱されました。任期は1月1日から3年間です。人権擁護委員は、わたしたちの基本的な権利が侵害されないよう監視し、万が一侵害されたときは、救済のため

適切な処置を取ることなどを任務としています。本町には、狩野さんのほかに4人が人権擁護委員に委嘱され、親子関係や近隣関係、差別、いじめ、虐待など人権に関する相談に応じています。お困りの方はお気軽にご相談ください。

◆**本町の人権擁護委員(敬称略)**

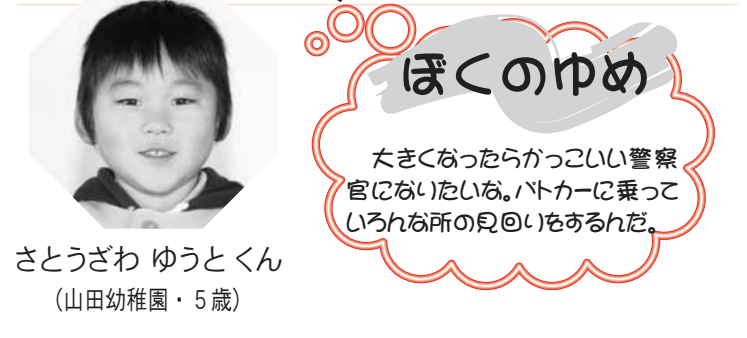
▽狩野眞理子(☎82-574-3)▽吉田徳右工門(☎84-2549)▽湊多喜郎(☎82-15865)▽佐々木正弘(☎86-2142)▽貫洞征功(☎82-15261)

イラスト



腐女子リンゴ改め、フレディちゃん(11) ヒバード(12) 柏原花音(8) ゆりり玲乃(18) 神崎(11) Tinker Bell(9) Stitch!(13) ☆チヨル(14)

みんなのスペース



さとうざわ ゆうとくん
(山田幼稚園・5歳)

ぼくのゆめ

大きくなったらかっこいい警察官になりたいな。バトカーに乗っていろいろな所の見回りをするんだ。

古里への便り



ふる里山田同郷の会会員
埼玉県草加市
村上 進さん(63歳)
(田の浜出身)

お寒い日が続いておりますが、皆さまお元気で過ごしてのことと存じます。私は生まれ育った田の浜を出て43年が過ぎました。上京した昭和39年は東京オリンピックの年で、10月10日開会式の入場行進が始まると大都会東京の道路に車が走らずシーンと静まり

返った記憶があります。石原都知事が「オリンピックを東京に誘致」との報道を聞き、東京オリンピックの熱狂が思い出され43年の年月が短く感じられます。私たちが昭和35年船越中学校卒業生は、東京近郊在住者(30人)で毎年同級会を開催し、近況報告、情報交換、レクリエーションなどを楽しんでいます。「ふる里山田同郷の会」には八幡町出身の案内と二人で初代会長「萬さん」の時代より参加してい

ます。親戚・同級生・同窓生と歓談し和やかな時間を過ごしています。田の浜には毎年お盆に、子供や孫を連れて車で帰省しております。小学4年生の孫は「じいちゃんの家」の田舎の海は透き通って「キレイ」と言って、真っ黒になつて帰ります。私が18歳のときまで、ワカメ、コンブ、ウニ、アワビなどをとって育った海、素晴らしい自然が残っている。つまでも自慢できる古里であつてほしいと願っております。山田町のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

投書

どんなことも結構です。どしどしお寄せください。

新しい年の幕開けに思う

平成20年の新しい年が始動した。国会はねじれ国会などと、与野党の紛争が懸念されている。さて、わが山田町の平成20年度の町政の行方は果たしてどうなのかと思案される。町民一人一人として何はともあれ、すべて平穩でありたいものだ。達増県政について若手日報社の県民意識調査では県政に求めるものとして、「医療確保など地域医療対策」が26・6%と最も

高かったと報じていた。また、今の生活に不安を感じている人は何と95・2%と上昇傾向とのことで、私たち高齢者は老後の不安を隠し切れない。それにつけてもやはり日ごろ健康でありたいものと願っている。齋藤忠雄(船越・82歳)

クルミ殻の占い懐かしく
お正月が待ち遠しかった子供のころ、年の瀬になるとどこからともなく正月用のクルミを割る音が聞こえてきた。わが家では真つ二つに割ったクルミの殻12粒を占い用として神棚にあげておくのだった。元旦には炬

その殻を燃やし、真つ赤になつた殻を一粒ずつ1月から12月まで丁寧と並べた。半分赤くなると月初めが天気がいいとか、半分黒くなると月半ばから天気が悪いとか、殻の燃え具合でその月を占い、1年を月別の予報表に書いておくのだった。昔を懐かしみながらお正月を迎えることもまた老いの楽しみでもある。菊地サカエ(織笠・72歳)

健康が何より一番の幸福
今年「戊子」の歳。子は十二支の第一番目、方位は北、時刻は現在の午前零時ごろ、月では旧暦11月、動物では鼠が充て

られています。鼠に関する昔話に「鼠の嫁入り」という話があります。昔ある所に大変金持ちの鼠の夫婦が娘の婿を選ぶのに、家の娘の婿に誰が一番ふさわしいかと相談していたところ、この世を一人で照らして世のために尽くしているお日様(太陽)に決まりました。早速、お日様にその話を持っていきましたが、「いくら私が照らしても雲様が出てくると雲に覆われ照らすことができません。雲様が一番だ」とお日様に断られました。そこで鼠の夫婦は雲様の所へ行きますが、雲様は「それは言っても、風様が吹いてくると吹き飛ばされて跡形もなくなるので、風様が一番だ」と断ります。今度は風様の所へ行つてその事を話しますが、風様が言うには、「私がどんなに強く吹こうと壁様には無力の抵抗、だから壁様が一番だ」と。鼠の夫婦は最後

の頼みの壁様をお願いをしたが、これまた壁様は、「風様には強くても鼠には穴を開けられ、ひとつたまりもなく、鼠様には勝てません。鼠様がこの世の中で一番だろう」とさとされ、結局最後は同じ仲間の鼠を選んだという昔話であります。あれこれと選んでみたところで結局は変わり映えのしないところに落ち着くという例えともなつた話でもあります。目まぐるしく変化をしていく昨今の世の中を考えますと、平凡ながらも変わらぬ毎日を健康で暮らせることが人間の一番の幸福なのではないでしょうか。ドントハレ。西館隆(船越・?歳)

▽作り方
①うるち米は粉にしておきます。
②豆はきれいに洗い一昼夜水に浸しておきます。
③その豆を少し柔らかめに炊き冷まします。
④冷めたら機械(すりつぶし機)に掛けてつぶします。機械がない場合にはフードカッターまたはすり鉢を使用してください。
⑤次に①と砂糖、塩を入れてむらなく混ぜて、もう一度機械に通して出来上がりです。
※味と形は自分の好みで自由に整えてください。
荒川農産物加工組合
組合長 佐藤ミノリ

すつとぎの作り方教えて

「道の駅やまだ」などで売られている「すつとぎ」を作ってみたいので、広報に作り方を載せてください。
斐田大樹くんの母(北上市)

【回答】

寒い時期に作られる郷土料理「すつとぎ」の一般的な作り方(5人分)を紹介します。
▽材料 青豆が黒豆:300g
うるち米(粉):560g
砂糖:300g
塩:少々(約2g)

冬休み一日千秋待ちわびる寝たか起きたか孫の外泊
大川ヒメ子(大沢・63歳)
指先は心の窓や
点字読み折々
風も花も読み分けり
菊地孝進(船越・?歳)
寒稽古懐かしき日の
剣防具遠く離れる
子の臭いかぐ
大町テイ子(大沢・?歳)
山田湾不景風が吹きすさび
佐藤兼男(荒川・81歳)
愛と言う人生絵巻泣き笑い
山田北州(山田・86歳)

◆投稿規定 ▷住所、氏名、年齢、電話番号を明記。ペンネーム、匿名での掲載を希望する方はその旨をさらに付け加えてください▷住所、氏名が記入されていないものは掲載しません▷営利・政治的活動を目的としたものや、特定の個人・団体をひぼう・中傷するものは掲載できません▷投書を添削することがあります。
◆あて先 〒028-1392(住所不要) 山田町役場総務課情報管理担当へ。